



化学物質リスクアセスメント推進大会  
2017年1月12日

# 「化学物質リスクアセスメント」 の取組み状況

メタコート工業(株)岡山工場

# 会社概要

設立

1985年4月1日

資本金

4億9000万円

事業所

《本社》東京都中央区八丁堀1-6-1

TEL 03-4413-1151 代表(自動車部品事業本部)

《奈良工場》奈良県北葛城郡王寺町王寺3-2-46

TEL 0745-72-7401 代表

《岡山工場》岡山県岡山市北区御津高津120-11

TEL 0867-24-2233 代表

株主

ニチアス株式会社 100%

従業員

502名 (2016年8月現在)

国際規格

ISO-9001(DNV) 1997年7月30日 認証取得

ISO-14001(JQA) 2002年3月 1日 認証取得

# 国内拠点

## 岡山工場



(交通アクセス)  
岡山空港 車で15分  
岡山インター 車で30分  
JR岡山駅 車で40分

## 奈良工場



(交通アクセス)  
JR関西線王寺駅 徒歩5分



# 国内拠点

## 岡山工場

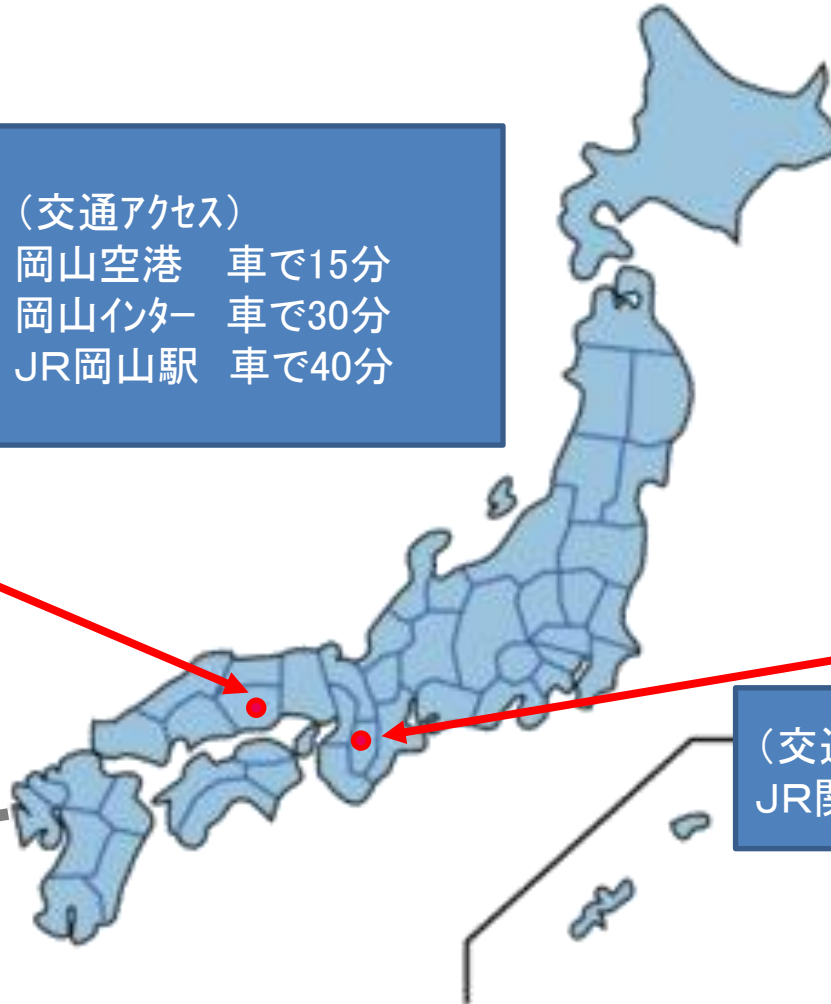


(交通アクセス)  
岡山空港 車で15分  
岡山インター 車で30分  
JR岡山駅 車で40分

## 奈良工場



(交通アクセス)  
JR関西線王寺駅 徒歩5分



# 岡山工場製造品目

## (1)ラバーコートメタル(コイル材・フープ材・シート材)

### ◆メタコート(ソリッドゴムタイプ)

- ①エンジンヘッドガスケット用基材
- ②エンジン廻りガスケット用基材
- ③ミッション廻りガスケット用基材
- ④冷凍機ガスケット(新フロン対応)用ガスケット
- ⑤シールワッシャーガスケット用基材
- ⑥ゴムOリング代替ガスケット用基材
- ⑦ブレーキシム用基材

### ◆メタフォーム(発泡ゴムタイプ)

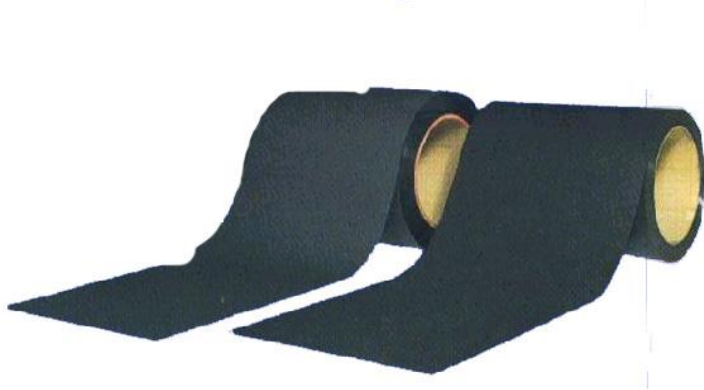
- ①エンジン廻りガスケット用基材

### ◆メタラミネ(ラバーラミネート制振鋼板)

- ①自動車・一般工業用制振材
- ②防音外装板

### ◆メタプラス(接着層付き制振材)

- ①ブレーキシム用基材
- ②自動車・一般工業用制振材



# 奈良工場製造品目

## (2) プレス加工部品(ブレーキシム、ガスケット、WJS)

### ・エンジン周りガスケット

採用部品: ウォーターポンプGKT等



### ・ウォータージャケットスペーサー

採用部品: 高性能WJS(SUS+EXPAD)



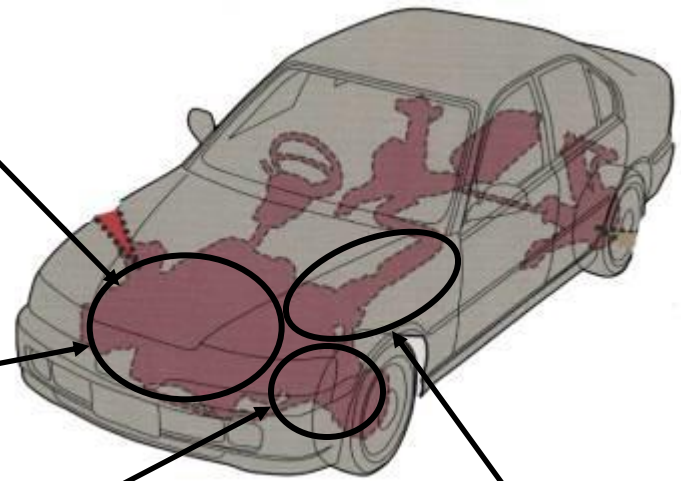
### ・ブレーキ鳴き防止シム

採用部品: ブレーキシム

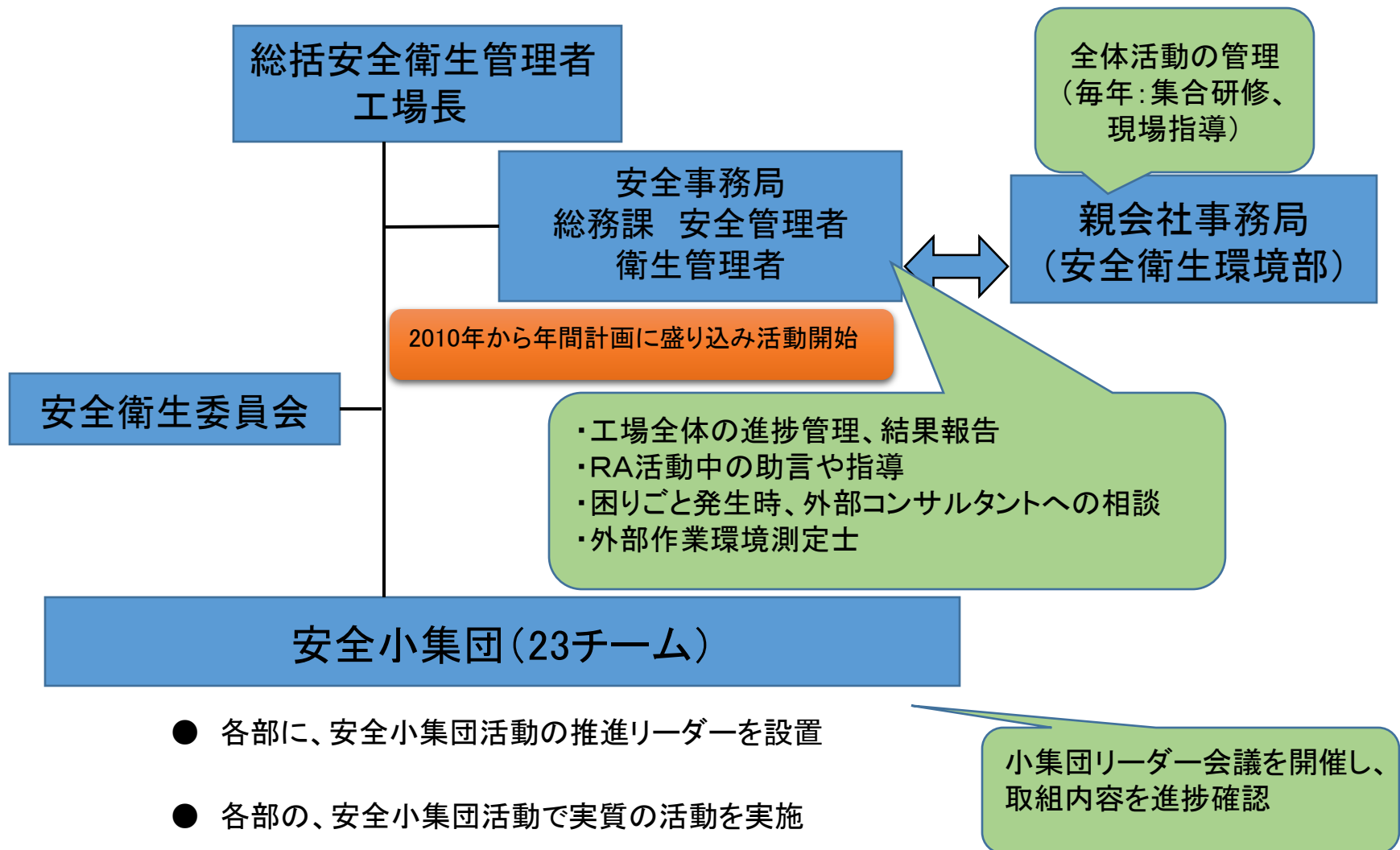


### ・排気系ガスケット

採用部品: エキマニGKT、EGR PIPE GKT等



# 安全衛生管理組織（化学物質RA推進体制）



## どのように対象を特定しているか？

化学物質リスクアセスメントの対象を  
取り扱っているすべての資材（原材料のほか  
洗浄剤など）とした

通知対象物以外のものも評価対象に

まずは、最新SDSの**抜け洩れ確認**を実施した



# どのような手法でリスクの見積もりをしているか

リスクを3つに分けて実施

眼に対するリスク  
皮膚に対するリスク

有害性×可能性

中毒にかかるリスク

有害性×ばく露量

# どのような手法でリスクの見積もりをしているか

## 眼に対するリスク評価

有害性×可能性

		GHS分類 【SDSから】 眼に対する重篤な損傷、眼刺激性	
		区分なし	区分あり
資材が 眼に入る可能性 【作業員から】	飛散 あり	場合により対策	<b>対策必須 労働者教育</b>
	飛散 なし	対策不要	対策不要 労働者教育

# どのような手法でリスクの見積もりをしているか

## 皮膚に対するリスク評価

有害性×可能性

		GHS分類 皮膚腐食性、刺激性	
		区分なし	区分あり
資材が 皮膚に付着する 可能性	接触 あり	場合により対策	<b>対策必須 労働者教育</b>
	接触 なし	対策不要	対策不要 労働者教育

どのような手法でリスクの見積もりをしているか

## 中毒にかかるリスク評価

有害性×ばく露量

健康障害防止のための化学物質リスクアセスメントの評価方法を採用

### コントロールバンディング

(量、時間からばく露量を推定)

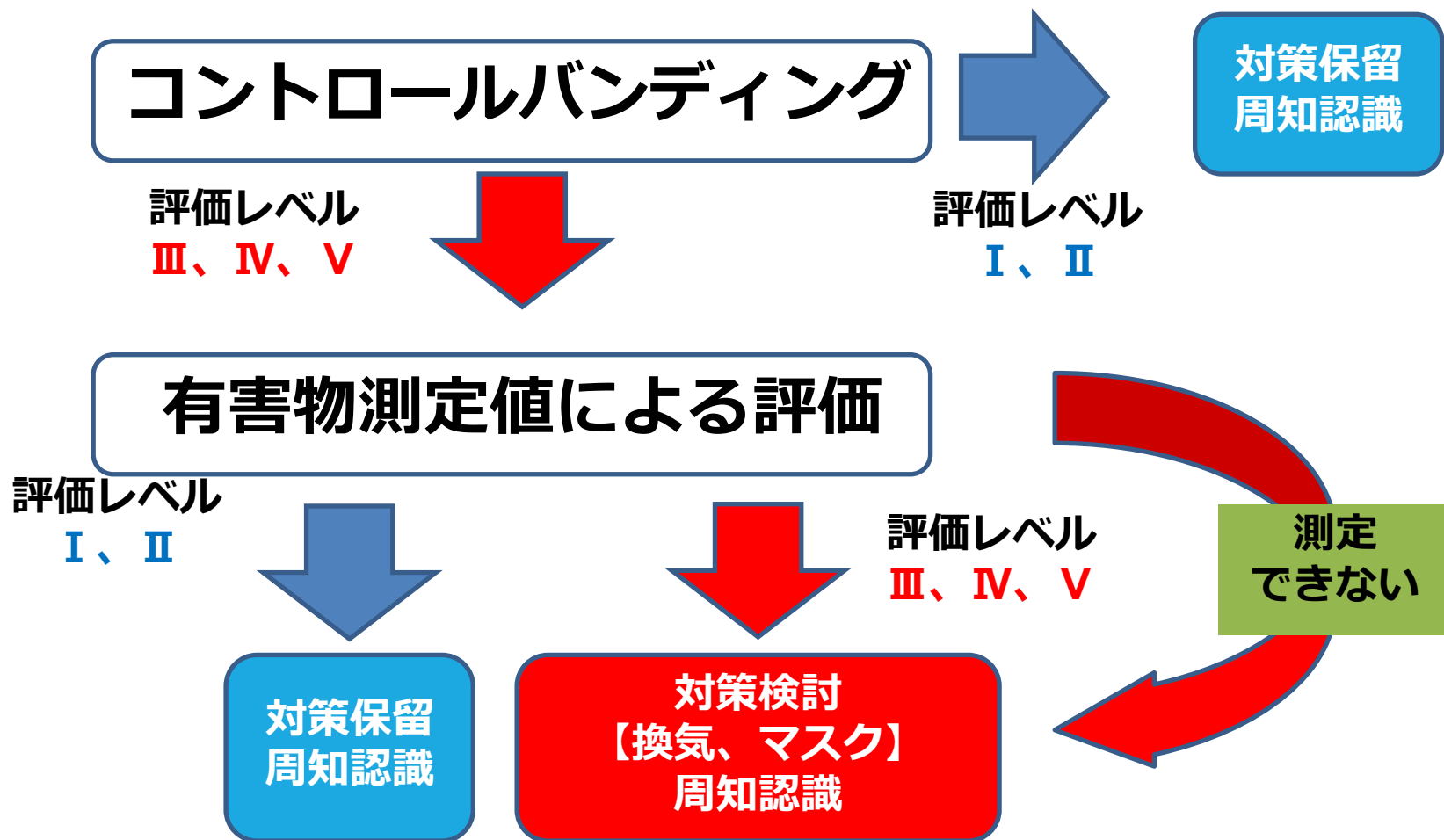
+

### 有害物測定による評価

(気中有害物の濃度測定値からばく露量を推定)

の組み合わせ

# どのような手法でリスクの見積もりをしているか



## どのような手法でリスクの見積もりをしているか

### 【まとめ】

- SDSのあるものの全て実施
- 3つに分けて実施（眼、皮膚、中毒）
- コントロールバンディングと有害物濃度測定値による評価の組み合わせ

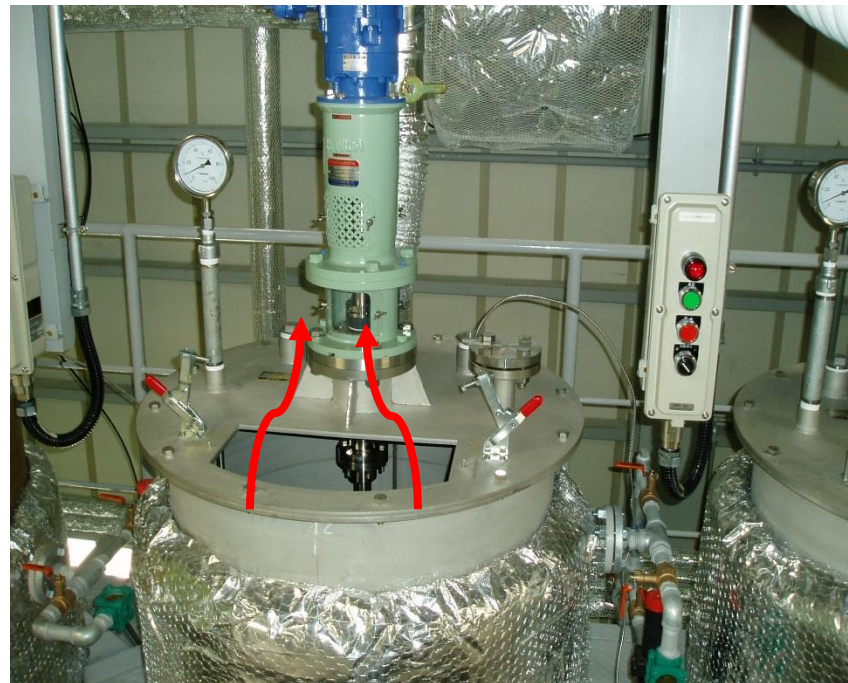
現行資材（製品原材料のほか、洗浄剤などの消耗材を含む）について評価を完了した

# 局所排気装置の運用例①②

## 囲い式局所排気装置①



## 囲い式溶解機局所排気装置②



# 着用している労働衛生保護具



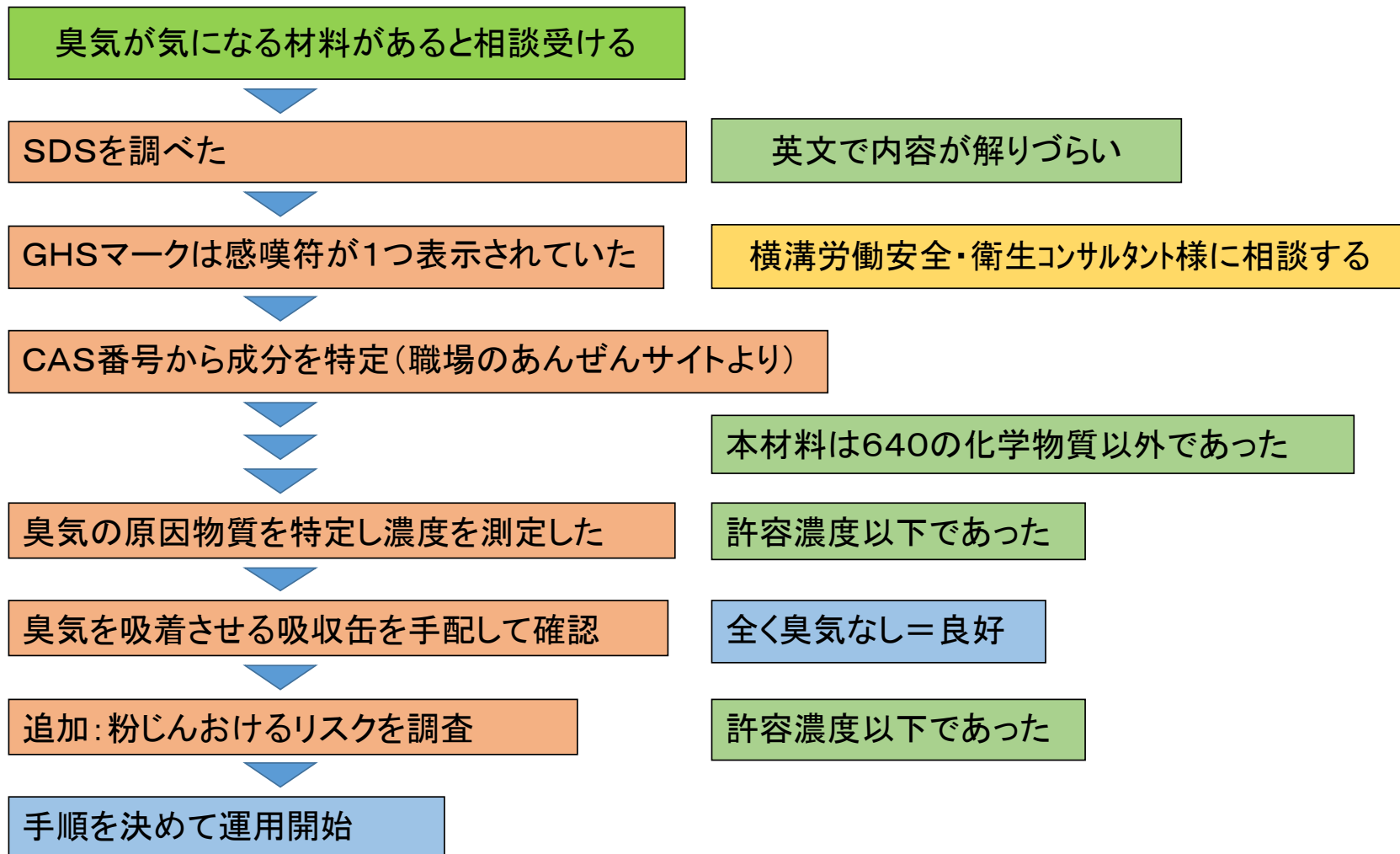
通常作業服



保護具着用作業服



# 作業環境の改善できた良い例



# これから

- 化学物質リスクアセスメントの**定着**  
全国労働衛生週間行事に「評価結果見直し」  
安全衛生委員会議事に「新規資材の導入有無確認」  
評価結果を措置につなげる  
「リスクアセスメントの実施が目的ではない  
(措置の優先順位づけである)」

